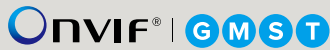


AIプロセッサを標準で搭載し、カメラ内で顔や人、車両、二輪車を自動で識別することが可能。AIアプリケーションによる映像の分析・解析をすることで、事件事故の未然防止への貢献や業務を効率化。

PRO



WV-S2136LJ / WV-S2116L



WV-S2136LJ / WV-S2116L



写真はWV-S2136LJ



屋内対応

WV-S2136LJ : フルHD (1920×1080)
WV-S2116L : HD (1280×720)
(赤外線照明 (IR LED))
(カメラ直付け方式) ※レンズ交換不可

メガピクセル (3 M※1 / 2 M)※2 メガピクセル (1.3 M)※3	3.1倍電動パフォーカル	オートフォーカス (レンズAF)	カラー白黒自動切換	インテリジェントオート (iA)	ダイナミックレンジ 144 dB
AI音識別機能	スマートVIQS / スマートピクチャ制御	GOP制御 (Group of pictures)	H.265, H.264 / JPEG	PoE 対応	耐衝撃性
防塵性・防水性	除湿機構	自動追尾	AIカメラ用機能拡張ソフトウェア (オプション)※4	かんたんキッティング梱包	microSDメモリーカード

※1 : 超解像度技術使用時 ※2 : WV-S2136LJ ※3 : WV-S2116L

※4 : AI動体検知 AI-VMD (WV-XAE200W)、AIプライバシーガード (WV-XAE201W)、ナンバー認識 (WV-XAE202W : WV-S2136LJのみ対応)、AIマスク非着用検知 (WV-XAE203W)、AI混雑検知 (WV-XAE207W) など

ネットワークカメラ本体にAI機能を搭載



- 本機はAI機能を実現する専用のAIプロセッサを内蔵し、カメラがとらえる画像や音声の分析・解析をカメラ内部で実施することによって、システム全体の処理負荷を軽減できます。また、カメラ内で顔や人、車両、二輪車を自動で識別し処理が可能。
- 本機はAIプロセッサを活用する機能拡張ソフトウェアを2つインストールできる構造を持ち、最大2つ同時に動作させることができます。機能拡張ソフトウェアとして「AI-VMD」「AIプライバシーガード」をプリインストール (90日間お試し版)。その他に、「ナンバー認識 (※WV-S2136LJのみ対応)」「AIマスク非着用検知」「AI混雑検知」などを提供します。
- 同時にソフトウェア開発キット (i-PRO Camera SDK) の提供も行い、サードパーティによるアプリケーション開発を可能にしました。

◎ソフトウェアの種類と機能の詳細および対応機種一覧はサポートウェブサイトの管理番号【C0103】を参照。また、ソフトウェアを追加の際は、プリインストールされたソフトウェア (AI-VMD/AIプライバシーガード) のアンインストールが必要です。



人の叫び声やガラスの破損音、クラクション、銃声、といった種別ごとのAI音識別機能を搭載※5

新しくAI音識別機能を搭載し、人の叫び声やガラスの破損音、クラクション、銃声といった音を識別しアラーム通知することで、映像監視をより強化することを実現しました。

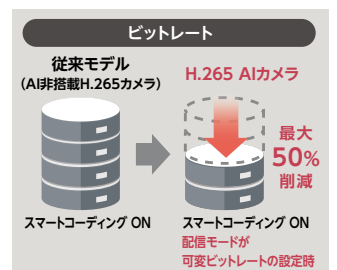
※5 : AI音識別機能利用時の推奨マイクはサポートウェブサイトの「AI音識別用マイクの接続動作情報」をご覧ください。

AI処理による物体検知と連携させたi-PRO社独自のスマートコーディング技術※6を搭載し、更なる低ビットレート高画質ストリームを実現

- AI処理による物体検知と連携することで、物体検知領域、非検知領域の圧縮率を制御し、従来のスマートコーディング技術と比べデータ量を最大50%※7削減できます。

- 顔や人、車両、二輪車を低圧縮に、それ以外の領域を高圧縮に制御することで、見たい部分の画質を保持したまま、データ量を削減します。

※6 : 検知物体以外の領域の圧縮率を上げ、検知物体の有無に応じてリフレッシュ間隔およびフレームレートを最適化することにより大幅に帯域削減する技術。
※7 : 圧縮効果は録画条件や撮影環境により異なります。本効果が得られるのは配信モードが可変ビットレートの場合のみです。



AI処理による物体検知と連携させたi-PRO社独自のインテリジェントオート (iA) 機能

低照度での色付き、よりブレを抑えたノイズリダクション

設置時間短縮を可能にする「かんたんキッティング梱包」、「i-PRO 設定ツール (iCT)」

「動作検知 (VMD)」と「妨害検知 (SCD)」を標準搭載

照射距離50 mのIR LEDを搭載

i-PRO AIネットワークカメラ Sシリーズの特長について詳しくはこちら >



